

令和5年度矢巾町立学校運営協議会会議録

- 1 日 時 令和6年3月21日（木）午後6時30分～午後7時45分
- 2 場 所 矢巾町公民館 大研修室
- 3 出席者 協議会委員（欠席者）渡邊 謙一、吉田 彰宏、佐藤 美佳
事務局（欠席者）馬場矢巾東小学校長、藤澤矢巾北中学校長

4 内 容

【開会】南幅教育次長兼学校教育課長

おぼんでございます。年度末のお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。

只今から令和5年度矢巾町立学校運営協議会の全体会を始めたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

【挨拶】菊池教育長

では改めまして皆さんこんばんは。お忙しい中お集まりいただきました。ありがとうございます。

昨日、新聞で教職員の定期人事異動が発表になりました。この場をお借りしまして、校長先生で言いますと、徳田小学校の長谷川幸代校長先生、役職定年ということでございました。ありがとうございました。それから、不動小学校の鷹嘴達校長先生、役職定年と。そして矢巾中学校の吉岡裕晃校長先生、役職定年ということでございます。つまり校長先生6人中3名が役職定年を迎えられて、また来年新しい方が入ってくるということでございます。また、副校長先生で言いますと、徳田小学校の細川副校長先生、今度、盛岡市の河北小学校の副校長で異動することになりました。それから、矢巾東小学校の馬場副校長先生は校長先生に昇任されて、宮古の花輪小学校で勤務されることになりました。また、事務局の方ですけど、先ほど開会をされました南幅教育次長ですが今度、奥州市の前沢中学校、ちょっと大きい学校なんですけど、そこの校長先生で勤務することになりました。来年度メンバーは変わりますけども、この学校運営協議会については、より進化をさせていきたいなと思っております。もう少し具体的に言います。来年町では第8次の総合計画がスタートする年になります。教育委員会は、第3期の教育振興基本計画という新たな計画がスタートする年になります。ですから、町にしても教育委員会にしても令和6年度は新たなスタートを切る年度というような位置づけでございます。先ほど女鹿会長さんとちょっとお話をしました。矢巾町の学校運営協議会は、令和2年度に発足しています。矢巾町の議会でも実は関心が高くですね、今回、お二方から質問を受けました。令和2年度に発足しましたが、本来の狙いの活動は出来ましたか？その評価をどう考えていますか？今後どうしていきますか？ということをお訊かれました。私は、コロナがあって十分な活動ができなかった。けれどもその中で、子ども達の活動はしてきた。ただ、今回、当初の目的を達成するために、さらにこれを進化させる必要があるというふうなお答えをしております。実は当初、このような構想図（図を見せる）があつてです、何書いてあるかという、学校と地域の人々が、みんなで知恵を出し合い話し合う機会。知恵を出し合い話し合う。そこで考えられるのは、今、各小学校中学校で部会を開催しておりますよね。ですから、まずベースになるのはそこなんです。だからその中で知恵を出し合い話し合うというような、そういう活動ができるようにしたいなと思ってます。2つ目は来年度、矢巾町の教育が新しいスタ

ートを切ると申し上げました。その新しいスタートは何だといった時に、小学校中学校の9年間を、9年間を見通した新しい義務教育を構築する。つまり、小学校で完結するのではなくて、中学校まで見据えた活動にしていきたいということであります。これを学校運営協議会にあてはめると、小学校でやったこと、中学校でやったことが6プラス3ではなくて、9という流れの中で矢巾町の子ども達を矢巾町で、矢巾町の地域で、矢巾町の学校で育ていく、そういうふうな取組に来年度以降考えていきたい。基本線は変わりません。知恵を出し合い話し合う。その中で、矢巾町学校運営協議会ではどんな活動になってるか、当初からあったのはこれです。小中一貫の質の高い学校教育です。実は今回の第3期教育振興基本計画でも小中一貫という言葉を使っています。それを読み替えると、9年間を見通した新しい義務教育。言葉は若干違いますが、9年間のスパンで物事を考えていきましょう。ですから、6足す3ではなくて9年の連続性の中で、そして子供たちの育成に関わる各団体があるわけですので、そのお力を学校運営協議会の活動に結集させていただきながら、重なっている部分をうまく、きちんとセパレートして分けて、それぞれの活動、特に学校運営協議会は、学校が子ども達がいる時間が一番長いところですので、そのところを充実させていきたいなというふうに思っているところであります。今日の会議はですね、それぞれ令和5年度の各部会の反省と、それから令和6年度の取組、方針等について交流をする場であります。交流する場でありますが、皆さん9年の視点を持っていただいて、どうすればより良く、もっとより良く子どもたちに還元できるか、子ども達を育成できるかという視点をお持ちになって、この会に参加いただければ幸いです。長くなりました。今日はどうぞよろしく願いいたします。

【協議】女鹿会長進行

それでは私の方から進行させていただきます。着座にて失礼いたします。

先ほど菊池教育長からお話がありましており、令和5年度の振り返りと、来年度の活動方針とかですね、新しいスタートという言葉がありましたけども、その9年間というところで軸において皆様の方から来年の方針とかですね、そのあたりをお聞きしていきたいなと思いますので、よろしく願いいたします。それでは次第に沿いまして進めてまいります。

では早速ですけれども協議事項3の①ですね、各学校の令和6年度学校経営方針の承認についてに入りますが、これにつきましては既に各部会の方で熟議していただいていると思いますけれども、ここ全体で共有したいと思いますので、校長先生の方から、お時間もちょっと限られてるので、5分、またそれよりももう少し短くというところで、ご説明いただければと思います。資料の順番で参りますけれども、徳田小学校さんの方からよろしく願いします。

○ 徳田小学校 長谷川校長

それでは徳田小学校です。座って失礼します。

矢巾町立徳田小学校の学校経営方針、(案)となっておりますが職員会議で話をしてこの案は取れています。まず昨年度と大枠は変わりありませんが、反省を生かしながら、経営方針を加除訂正しました。その部分が赤字になっています。昨年度は学校公開、それから創立150周年記念行事という大きな行事がありましたが、行事に向けて、「目指す学校像」にある楽しさあふれる学校、地域とつながる学校の実現に向けて昨年度1年歩んできました。4月からは、先ほど新たなスタートという言葉がありましたが、徳田小学校も小学校151年目、新たなスタートとなります。より一層学校、家庭、地域の連携、協働に力を入れて、本校の教育活動を進めていきたいなと思っています。

1の学校教育目標はそこにあるとおりです。「思いやりのある、かしこく、たくましい徳田っ子の育成」を実現するために、学級づくりや自分づくり等々して、「めざす学校像」の楽しさあふれる学校、地域とつながる学校を進めていくこととしています。そのためには、やはり先生たちが意欲的に、創造的に教育活動を取り組む教師でなければいけません。そこを目指していきたいということですが、一番は、各校のところの教師というところを目指していきます。学校経営方針についてはそこに書いてある3つです。「知・徳・体の調和の取れた児童の育成」、「組織を機能させながら教育活動を進める」、「地域に根ざした教育」、開かれた学校、信頼される学校づくり」を基本方針としています。学校経営の重点としては9つ、それから充実として9つ挙げています。今年度変えたところ、赤文字ですが、「学団・学級経営の充実」については、学団会というのを必ず位置づけて、学団で話し合いをして経営を進めていくってところを、まず1つ今年度、きちんと位置付けましょうということで話しをしています。続きまして次のページの(2)の「学力の定着と向上」については、イの算数科においてというところで、本校は算数の研究を来年度で6年目になります。最終年度と考えて校内研究のまとめをする予定です。もう1つはウの徳田スタンダード、基本的なこと、学習を進めるにあたって、用具、タブレットの使い方、座り方、ノート書き方等、先生たちともう1回話し合って、基本的なことをしっかりやりましょうという確認をしています。あとは、学習環境として学校全体の掲示等も少し力を入れたいなという話もしました。

(3) 学習指導要領と新教科書への対応ってということで、4月から新しい教科書がきます。全部見ましたが、たくさんQRコード等が付いています。その教科書を使って授業改善を図る授業を行っていくところが(3)の大きな点です。(4)の豊かな心の育成については書いてあるとおりですが、一番下の総合的学習の時間の年間計画の見直しを行いましたので、それを実践していくうえで地域人材活用や、キャリア教育との関連を意識して進めていくということです。(5)の健やかな体の育成については、イの体育の授業(校内マラソン大会等)ということで、徳田小学校は校内マラソンが中止になっていたわけですが、学校運営協議会の皆さんとお話し合いをして、今年度より、コミュニティスクールの皆さんの練習、それから他の協力を得ながら、学校外で実施する予定になっています。粘り強くやり遂げる精神力や体力向上を図っていきたいと思っています。続きまして、(9)の働き方改革の推進ということで、先生たちの働き方についても、もう少し校内安全衛生委員を機能させていきたいと思いますということで、赤文字で強調しています。学校経営の充実に向けては、先生たちが見逃しがちな点や学校評価で落ちてきている部分について、赤で書いてあります。キャリアパスポートの活用、読書が減ってきているので、楽しい本好きな子どもを育てる取り組み、それから、(13)の持続可能な社会づくりのSDGSを意識した取り組み、(14)情報モラルに関わる指導、(15)の人権、望ましい集団活動や人間関係づくりということも人権教育で意識してやっていきたいところです。(16)、(17)とありまして(18)は、家庭や地域との連携ということで、今年度150周年記念行事に伴って地域や保護者のたくさんの協力をいただきました。それが学校の活気にもつながって良かったなと思います。そのうえで、来年度も地域素材を生かした学習を進めていきたいなということで、エのところを赤文字で書いております。以上です。

○ 煙山小学校 加藤校長

煙山小学校の方針のページをご覧ください。煙山小学校では、学校教育目標に関わりまして、「人間性豊かで実践力のある子どもの育成」を掲げ、三つの視点から子どもたちを育てていきたいと考えてます。具体目標が知、徳、体ということで、「進んで学ぶ子ども」(知)については主体的に学

習に取り組み、思考力、判断力、表現力を豊かにする。それから、基礎、基本を身につける。それから「心豊かな子ども」(徳)については、明るい挨拶、規範意識、それからお互いの良さを認めたり、お互いに助け合うというところです。「たくましい子ども」(体)については、進んで運動、基本的な生活習慣、あと、安全に気を付けて命を大事にするというところを具体的な姿として進めていきたいと思っています。それに関わって、目指す学校像や目指す教師像をそのように設定いたしました。次のページをご覧ください。学校経営の重点でございますが、「進んで学子どもの育成」については、育成したい資質・能力を明確にした単元計画の策定とそれ沿う学習指導の徹底ということで、特に11月には学校公開研究会がありますので、子ども達が、話すのが好き、楽しい、みんなで学ぶのが楽しいというふうな姿になるように指導していきたいと思っています。以下、イの「基礎的・基本的な知識・技能の定着」、ウ「情報機器の計画的・継続的な活用」、エ「読書習慣形成の強化」というふうに考えております。(2)の「心豊かな子どもの育成」につきましては、一番上に学年経営学級経営の充実ということで挙げております。子供たちや保護者の皆様に丁寧に対応することが大事かと考えておりますので、いろんなことがあるかもしれませんが、まずは丁寧に対応する。それから初動をしっかりする、それから報連相をきちんとするというところで、学級経営や学年経営を充実させていきたいなというふうに思っておりますし、イの「生徒指導の充実と児童の健全育成」につきましても、アと連携しまして、いじめや登校しぶりの未然防止を図っていききたいなというふうに考えております。それから、ウの「特別支援教育の充実」につきましては、本校でも支援を要する子供たちがたくさんおりますので、その子供一人一人が楽しく学校に来れるように丁寧に対応していきたいというふうに思っております。以下、エ、オ、カ、キ、クと、それぞれ重点を設けております。その中でクの「情操教育の充実」につきましては、本校では吹奏楽部がありますが、その他にも、6年生の運動会でマーチングをしたり、煙小さんさ踊りをやったり、それから、ミュージックフェスタというような行事もう会ったりしています。矢巾町は音楽のある町づくりということもありますので、煙山小学校でも音楽のある学校と効果をしっかりやるようにしていきたいなというふうに思っているところです。(3)「たくましい子どもの育成」についてですが、アの「体力づくりの推進」なんです、特にもイの「保健指導」というところで、なかなか生活習慣が乱れているというところもありますので、そのメディアダイエット部分については、おうちの方々の協力も得ながら、ぜひゲームやネットの影響が非常に大きいので、それがしぶりに繋がってきたりしていますので、連携、そして啓発をしていきたいなというふうに考えておるところです。自転車の通学の子供達もおりますので、安全指導につきましても丁寧にやっけていながら命を守っていききたいなと思っています。最後のページの方をご覧ください。(4)の「開かれた学校づくりの推進」についてですが、この学校運営協議会の円滑な運営ということで、部会の方は、なかなか去年できないでしまって2月の最後の方になってからやったわけですけども、地域の方々と協力して少しでも学校の教育活動にお力をいただけるように働きかけをしていきたいなというふうに思っております。イも「保護者との適切な連携」については、学校ホームページの更新を心がけております。今年全部で59回更新しましたので、来年も頑張っていきたいと思っています。それからウの「幼・保・小・中の連携」につきましては、教育研究所の研究にもあり、教育長さんのお話にもありましたが、特に小中連携の部分について留意をしながら、進めていきたいなというふうに考えております。園との関わりについても、園の子供達への訪問等を行いまして、次の年度に繋げていけるような形が、就学ができるような形で進めていきたいと思っています。まず、最後の「学校運営について」ですが、コンプライアンスの推進ということで、不祥事が起こらないようにということで日々、

先生方と確認していききたいなというふうに思っております。教員としての資質能力の向上につきましても、徹底していききたいなというふうに考えております。以上です。

○ 不動小学校 鷹觜校長

不動小学校の令和6年度学校経営ということで説明させていただきます。まず、不動小学校の学校教育目標ということで、「考えを広め、深める子」、「思いやりがあり、よく働く子」、「健康で、気魄ある子」ということで3つ掲げております。それを受けまして、「目指す児童の姿」に近づけるように指導していききたいなと思っております。本年度の経営の重点として何点か説明させていただきます。1つ目、学力の分についてです。まずは、「主体的・対話的で深い学びの中で思考力・判断力・表現力を育成し〜」という部分です。その部分では、まずは個別の学び、あとは協働的な学びができるように、個別の定着度の把握、あとは、朝学習等を使って、なかなか定着の良くない部分について、指導していききたいなと思っております。あとは少人数指導等、この部分に関しても担任外等も活用しながら進めていききたいと思っております。「基礎基本の定着」に関してですけれども、なかなか基礎基本の定着が思わしくない子ども達もおりますので、来年度は水曜日の掃除の時間をちょっとカットしまして、その部分に復讐の時間ということで、新たに設けて進めることで考えております。「基本的な学習規律と主体的な学習習慣〜」というところで、話し方、聞き方等のマニュアルを作成して、子ども達がそれに沿って話せるように、聞けるように進めていききたいなと思っております。あとは家庭学習と授業の連動を図り、より効果的な家庭学習のやり方というのを、身につけさせたいなと思っております。「特別支援教育の充実」というところでは、特別支援学級のみならず、通常学級のところでも特別な支援を要するお子さんが増えているという現状がありますので、その部分に関しても特別支援学級と連携しながら進めていければなと思っております。あとは、読書について、生徒指導についてとそこに書いてあるとおりです。(6)のICT教育ということで、今年度も進めてきてるわけですが、それを各学年に任せるのではなくて、各学年ごとに1年生ではここまで、2年生ではここまでというふうに、目標を設定してそこをクリアできるように進めていききたいなと考えているところです。2番目の「豊かな心を育る教育の充実」ということで、一人一人が自己有用感を持てる学級経営の充実を図っていくというところが、一番の基になる部分ではないかなと考えております。そのために自他の生命を大切にする部分、あと当然いじめの防止、早期発見という部分も力を入れていきたい部分です。あとは(4)のところ「強い心の育成」ということで載せておりますけれども、子ども達が気持ちが弱い子が増えているのではないかなと思っております。自分ができるようなことがあると最初から諦めてしまったり、ちょっと躓いたときに立ち直れない雰囲気になってしまう子供が多いなと感じてるところです。ですからまずは、成功体験を積み重ねることだったり、あえて少し高い目標で、失敗してもいいんだよという気持ちを持たせることによって、子ども達が折れない心を見つけるような指導をしていききたいなと考えているところです。(5)の「各種障がいへの理解の促進」ということで、先ほどお話ししたとおり、通常学級にも特別な支援を要するお子さんが増えてきていると感じているところです。今年度、新入生保護者説明会の中で、矢巾町で作っていただいた発達障害についての説明もさせていただいたところです。皆さんにもより理解してもらえるように、働きかけていききたいなと思っております。3番の健康安全指導の充実というところで、健康教育、体育指導の充実ということで書かせていただきました。(3)の「けがの防止」と載せていますけれども、実は今年度本校で骨折等の大きなけがが結構出ました。その中で当然けがしないための学級指導はやっていますし、これからもや

っていく部分だとは思いますが、その他にけがしやすくなっているなど感じているところ
です。例えば、転んだ時に手が出ない。頭から行くというようなのも実際ありますので、そうなら
ないように体育の時間を大切に、その中で手足の連動だったり、けがをしない体づくりだ
たりというのをやっていきたいと考えているところです。(4)の「望ましい生活習慣」の部
分、ゲーム、SNSについてということで、今年度各保護者さんに、ゲーム、インターネット
の誓約書と作って出させていただきました。その中で、家庭の約束事、その約束が守れな
かったときのペナルティということで提出していただいたんですけど、来年度もその部
分を徹底してやっていければなど思っているところです。親さんに振り返りをしてもら
ったところ、結構意識して子ども達取り組んでいましたということもありましたので、
やっぱりこういうのは明文化して分かるようにしておくのが大事なのかなと考えてい
るところです。大きな4番の「開かれた学校づくり」というところ
です。復興教育ということで、ここ数年、修学旅行は県内の沿岸で震災学習に取り組ん
できたところですけども、来年度も同じように県内の沿岸地域で復興教育に取り組ん
でいきたいなど思っているところです。3・11復興集会ということでゲストティー
チャーを招きまして、実際に体験したこと等をお話ししていただいているところ
です。次年度も続けていきたいなど思っているところです。3番の地域の部分です。
(3)の「不動小学校文化交流会の実施」というふうに書かせていただきました。実
はコロナ前までずっと長いこと「不動っこのつどい」ということで、特色ある取組
として不動小学校で続けてきていたところなんですけども、コロナ禍で中断してしま
ったこと、また、親さんの方から負担が大きいというお話もありましたので、その
部分を各子供会必ず参加という形をとりまして、参加できる団体に参加してもら
う。あとは、地域の郷土芸能団体に出演していただいて、不動地区に残っている郷
土芸能を不動小学校の子ども達みんなで観る、その中で入りたいなど思っ
た子はその中に入って一緒に活動していく、というような形に変えていくというこ
とで了承を得たところです。今年度は150周年記念式典の中で郷土芸能発表を行
わせていただきましたので、来年度、令和6年度から本格的に不動小学校文化交
流会ということで実施していくということで決まっています。4「伝統の引継」と
いうことでさんさ踊り、鼓笛については今まで通り継続して取り組んでいきたく
と考えているところです。以上です。

○ 矢巾中学校 吉岡校長

令和6年度の学校経営方針ということで、経営の基本というところに基づいて進
めていきたいと思っています。その中で「めざす学校像」ということで(1)から(5)ま
で挙げております。「安心・安全な学校」、「学習規律が守られ、基礎・基本の
定着を確実に図る学校」、「学校行事や部活動など諸活動に意欲的に取り組む
学校」、「明るくさわやかな挨拶と礼儀を大切にする学校」、「家庭や地域に向
け、積極的に情報発信及び協働する学校」ということで、めざす学校像を基に、
めざす生徒像ということで考えております。もちろん、そのためには5番に「め
ざす教師像」というところに、教師自身が研鑽とか研修とか進めていくという
ふうを考えて、具体的な活動というのを考えております。19ページに行きま
して、「令和6年度の重点事項」ということでお話をいたします。1つ目は「学
力保障」ということになります。そのためには、授業を基にして授業改善、こ
れを学校全体で進めていきたいと思っています。それから「生徒指導の充実」と
いうことで、この2本柱を基にして進めてまいります。(3)から(10)につ
いては、それを活かしていくために、ここもこぼさないように進めてまいり
ます。経営戦略というところで、さらに少しずつ具体的に何をやるかというこ
とで記載しております。その中で、小学校とも積極的に交流をしていきたいと思
っています。授業交流とか

それから子ども達同士の交流、それについては進めてまいります。それから「特別支援教育の視点を取り入れた指導の充実」ということで、これは全部の生徒に役に立つというふうな考えで進めてまいります。20 ページ、「生徒指導の充実」。何よりも、共感的な人間関係ということで、間違いやできないことを笑わない集団を目指していきたいなと思いますし、認め合い、支え合い、励まし合いがある、そういう子ども達、中学校の集団を作ってもらいたいと思っています。(3)ボランティア活動になりますが、普段のボランティアを大事にしながら、今現在野田中学校と震災以来交流を続けているわけですが、無理なく長く継続できる交流にしつつ変えていければなと思っています。それから、キャリア教育の視点というところで、やはり矢巾町内のいろんな産業であるとか、歴史であるとか、そういうことも踏まえながら、まず足元から見つめて進めていきたいなというふうに思っております。矢巾町の教育も新しくなります。矢巾中学校の経営方針もそれに沿いながら、そして独自に考えながら進めてまいりたいと思います。

○ 矢巾北中学校 長谷川副校長

本校校長ですが、今、声楽アンサンブルコンテストの全国大会の方、本日予選がありまして、そちらの方に行っておりますので、代わりに副校長が説明させていただきます。

22 ページをお開きください。学校教育目標ですが、ここは変わりません。そこに書いてあるというとおりでそれを目指して、3番「めざす学校像」、4番「めざす生徒像」、5番「めざす教師像」とありますが、今年度の反省及び変化する子ども達の実態を踏まえ、私たちも変わっていく必要があるだろうということで、若干見づらいかもしれませんが今年度、昨年度の変化ということで見え消しにしたり、赤字にしたりしています。「めざす教師像」のところですが、(1)番、やはり支援する伴走者としての教師の立場というふうなことを意識してというのが1つ目。(2)番、やはり今は非常に、時代の変化に伴い、いろんな環境も変化していきますが、その変化に私たち自身が前向きに対応していくことが子ども達にも反映されるというようなことを考え、そのような表現をさせていただきました。23 ページご覧ください。先ほど言ったように学校教育目標を目指すための具体、重点ということで、そこに掲げさせていただいております。やはり、いろんなものを目指すのに、すべての育成の土台は、(1)にあります、「学年・学級経営に充実」というふうに書いております。①番、職員間および保護者との連携を意識した創造的などというようなことが書いてあります。やはり学年経営、学級経営がしっかりしていることがいろいろな子ども達の変化、またはこれから子ども達がいろんなことで成長していく、しかも中学生、多感な時期ですので、きちんと学年経営、学級経営がしっかりしていることが子供たちの成長を大きく促すだろうということ。2つ目、所属感を育てるということで、なかなか今は個人主義とかそういうふうなことは、ややもすると表に出てきますが、やはり所属感、矢巾北中学校の生徒であるということを誇りに思い、そこがやはり希薄な人間関係が深い人間関係になっていこうと。そこに今も声楽の方で全国大会の方に向かっておりますが、いろいろと輪ができると、そういうところを非常に大事にしながらいろんなことができるということが、学校長も本校にあるということでそこに書かせていただいております。2番目、そこに書いてありますが心と体の育成ということで、赤字で書いてあるところをご覧いただければなというふうに思います。特に、体力・運動能力向上の推進ということを、意識しながら今年度進んでいきたいということ。あと、(5)番のところですが、「知識・技能・意欲の育成」ということで、県の指針を踏まえながら、学力の基礎基本の定着等を進めていく。そこにもありますが、確かな学力育

成プロジェクト、あとは諸活動の活用、互見授業、ICT活用、ここら辺をキーワードにしなが、子ども達に、知識、技能、意欲を育成というふうなこと。24 ページお聞きください。あとは、主体的に学ぶということを考えると、家庭学習の充実というのが非常に大事になってくる。家庭学習の充実ということは、保護者の協力が不可欠だということで、ここに保護者との協力体制の確立というのを載せさせていただきました。あとは「めざす授業」と書いてありますが、子ども達は変化して成長した跡が見えるような形が大事だろうということで、そこは「生徒の姿」というふうに文言を変え、それを、生徒の姿を目指すために、そこに書いてある○の6つを意識しながら授業をやっていこうということで確認をされております。(7)番、「地域と連携した協働」ということで、今年度から矢巾町内の職場を中心に職場体験をさせていただき、これを継続していく。やはり、地域の良さを実感として、肌で感じていくということが郷土愛につながるのではないかというふうなことを考え、そのように明記させていただいております。あと、やはり被災地ということで、「いきる・かかわる・そなえる」の副読本がきちっとデータありますのでそちらの活用は今年度、ちょっと薄かったなということがありましたので、その部分も中心にもう少し副読本を活用しながら、「いきる・かかわる・そなえる」にきちんと対応していくということ。あと(8)番ですが、「学校・家庭・地域との協働による学校経営」ということで、学校運営協議会等を活用しながらということが書いてあります。その他のところですが、そこに書いてあるとおりとなりますが、「働き方改革の推進」ということで、行事の精選ということを意識しながらやっていくということ。あと、本校も令和7年度に創立30周年事業というものが控えておりますし、あと地区の中体連事務局というものがありますので、そちらの準備も併せて行っていきたいということになります。以上です。

○ 矢巾東小学校 小原校長

大変遅くなりました、申し訳ございません。資料15ページになります。よろしく申し上げます。

本校、この3月をもちまして開校20年を迎えたところ、21年目に向かっているところでございます。そちらをご覧くださいとおおり、第3期という扱いになりますが、創り上げる人間力を目指して、来年度進めていくこととなります。資料お進みください、16ページをご覧ください。この学校教育目標に向かいまして経営の方針なり、経営の理念ですね、「進取・創造・連帯」を基本概念とし、自他ともに成長し、目標達成・問題解決に向かう学校を目指し頑張っております。経営方針は、まずは「全職員で全児童を導く」ということをスローガンにしなが、今スローガンを練っているところですけど、新しく出発なんだ、新しく前に進むんだということを前面に出しながら、学校経営進んでまいります。経営の重点なんです、「心が通い、安定性を高める学校経営」、「組織体として機能する学校」、そして、コンプライアンス遵守、堅持ということで勤めてまいります。構想図の方17ページでございます、ご覧ください。新しくなって矢巾町さん方の教育目標などを交えながら抜粋してこのように考えました。それで、何を目指していくのかというところ、学習が「分かる」、「できる」、「楽しい」授業等を目指していろんなところと関連させながら進めてまいりたいと考えておりました。特に来年度、先ほども申しましたけれども、新しいことへのチャレンジなんだ、今三つのCで考えてまして、チャレンジ、チェンジ、クリエイティブというようなことを合言葉にしたいなと考えているところですけど、まだ細かいところ、職員あるいは子ども達の意見を取り入れながら、これから10年持つような取り組みを考えていこうと思っております。併せまして、コロナ禍が明けて今年から様々な教育活動が再開されたわけですけども、元に戻すというよりは、必要なものは残す、いらぬものは取る、あるいは違う形に置き換えていくということにしなが、

進めていきたいと思えます。以上です。

○ 女鹿会長

ありがとうございます。ただいま各学校、各部会の方から説明していただきましたけれども、今までの中でご質問とかご意見ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。ある程度各部会の方でもう熟議はしていただいている内容になりますので。皆さんよろしいでしょうか。それではご承認ということでよろしかった。はい、ありがとうございます。

それではですね、続きまして、協議事項の2ですね、令和6年度矢巾町立学校運営協議会の取り組みについて入っていきます。25 ページ、一番後ろの方になりますけれども、25 ページになりますけれども、令和6年度の学校運営協議会の取組について、今年度、令和5年度の取組の反省も踏まえながら、また各学校の方から重点等について説明いただきたいと思えます。徳田小学校さんの方からお願いします。

○ 徳田小学校 長谷川校長

よろしく申し上げます。今年度は150周年記念行事ということで、協賛会のメンバーの中には、コミュニティスクールの推進委員会の皆さんも入っていただいて、地域、それから保護者の協力がとてもたくさんありました。ここにある取組みは成されたなと思っております。そして今年度、学びフェストの反省をまた職員でも熟議を重ねて、より具体的に取組んでいこうということで令和6年度のところに2つ載せてあります。1つ目は、先ほど経営方針の中でお話ししましたが、地域、保護者の見守りの協力をお願いしながら、校外でのマラソン大会を取り組むということが1つと、それから2つ目は、今までメディアダイエット、メディアダイエットっていうので、数年取り組んできたわけですが、それだけでは、結局効果が現れないということで、県の取り組みである、ロクマルプラスプロジェクトっていうものを取り入れて、全てのまなびフェストのところの、地域、家庭、学校において取り入れて、運動習慣、食習慣、生活習慣という一体に進めることによって、メディアダイエットに行くのではないのかなというので、これが大きな取組となっています。以上です。

○ 煙山小学校 加藤校長

煙山小学校の取組ですけれども、③ところに150周年の記念実行委員会委員として、学校とともに活動に参加いただいたと。本来は取組みの中に年度当初にこう入れておくものだったと思うんですけれども、これを入れておりませんでしたので、本当に150周年記念に関わりましては、委員の皆様にお力をいただいてありがたかったかなと思っております。それから、実際の活動ではなかなか会合とか持ってなかったのが、実際の活動としてはあまりできなかったというのが正直なところなんです。来年度につきましては、先ほどのお話にもありましたが、各学年の学習活動における連携の推進ということで、先生方からこういうところでお力を借りたいんですけどもっていうことでお話いただいたものを、この前の2月の会合のときに、委員の皆様にお話をさせていただきました。今後、可能な範囲でご協力をいただければいいのかなと思っております。それから安全確保の推進については、これまでもずっとやってきていただいております、スクールガードの活動として、地域の方々に見守り等やっていただいておりますので、これについても継続して行っていきたいと思っております。それから挨拶運動の励行ということで、これについては学校の中だけではなかなか難

しいところがあります。ぜひ地域でもいろんな方々から子ども達に積極的に声をかけていただくように、自治公民館長さん方に働きかけながら、教育振興運動と連動して取り組みを依頼しながら、進めていきたいなと考えているところです。以上です。

○ 不動小学校 鷹觜校長

不動小学校令和5年度の取組として、大きな行事として150周年記念式典というのがありましたけれども、それに向けてPTAと、あとは地域とご協力をいただいたところです。中でも協賛金というのを皆さんにご協力いただいたんですけれども、各地域の方で自治会長さんの方から、館長さんの方にお話ししていただいて、各地区の班長さんが1件1件回っていただいて協賛金を集めていただいたということで、大変ご協力をいただいたところです。その協賛金を使わせていただきまして、記念誌を作ったわけなんですけども、その記念誌の配布にあたっては半焼さんの方から各家庭に配っていただいたというところです。あと、記念式典の事業として卒業生である水本圭治さんの講演会ということで、お願いしてやっていただいたところで、子ども達もカヌーというのは身近ではない子ども達が多かったんですけども、水本選手の話聞きながら興味を持ったところでありました。2つ目のICTのところに関して、先ほど説明のところでお話しさせていただきましたけども、誓約書というのを各家庭で作成していただきました。その中で反省の中で、子ども達が時間を意識して利用するようになりましてとか、あとはペナルティとして1週間利用停止にしましたとかというのもあって、ただ、その誓約書を提出するときに書いただけではなくて、ちゃんと意識して生活してもらってるのかなというふうに感じているところです。ただ、モラルについては紫波警察署の生活安全課の方に来ていただいて、高学年の子ども達に講義をいただいたところです。今現在SNS等の怖さについてということで、よりわかり易いお話をさせていただきました。今年度、親さんの方には講演ということでやることはできなかったんですけども、今後、親さんにも聴いていただきたいなということで話をしているところです。令和6年度の取組に関しても、先ほどお話ししたとおりです。不動小学校地域文化交流会ということで、第1回目の交流会を行うところですが、考え方としては、今までは各子供会ごとの演目発表ということだったんですけども、そうではなくて、不動地域全体の芸能として、何々地区という枠を外して不動小学校の子はだれでも参加できますよというような形にしていきたいなと考えております。そのことによって、不動小学校の子ども的人数も減ってきておりますので、不動小学校全体で地域の芸能を継承していくというような考え方に変えていきたいなと思っているところです。2番目の情報モラルについては先ほどもお話ししたとおりです。小学校、中学校でも、今ニュースに取り上げられますけども、いろいろなトラブルが発生していますので、決して他人事ではない、身近な問題なんだということで子ども達に考えさせていきたいなと思っているところです。以上です。

○ 矢巾東小学校 小原校長

今年度の取り組み①番に関わっては、先ほどちょっとお話ししましたが、コロナ明けということで復活したのもあってんですが、3年やらないうちにですねやっぱり人が変わってなかなかどうやったらいいかってというような手段の部分が苦しいものが出てまいりました。本年度、本校で学校門前の田んぼを使った農業体験、それでお礼の会、収穫祭があるんですけども、その田んぼを開校以来20年間やっていただいている地域の方がいらっしゃるんですが、そろそろやっぱり代わりをしたいんだということで、そちらも進めなければならない。今後やらないということではないけ

ども、自分が中心ではなく、農協さんなら農協さん、JAさんならJAさん通して手伝うっていう、中心ではないお話をいただいているところもあります。その流れの中で収穫祭やったんですけれども、大変喜んでいただいてやっぱりこういうのいいねって話だったんですけれども、それ考えるとやっぱりもう1回、今やってる地域学習と見直していかなければならないと思ったところでした。それから、他にもいろいろあったので紹介します。見守りボランティアなんですけれども、その情報についての学習等もしながら、地域と一緒に子ども達の安全、安心な環境作りを取り組んでまいりました。来年度ですけれども、先ほど申した通りですが、もう1回地域から学ぶものというのを見直して、何をゴールにするのか、ちょうど今年度は町長さんと語る会みたいなのがあって、そこで子ども達の地元として、矢巾町をどうしていけばいいのか、というのを発信というか提言して、町長さんに答えていただくという場面があったんですけれども、これすごくいいな、子ども達が自分たちが住んでいる地域、町について、知って考えて発信するっていうサイクルを持っていきたいものだなあとあってそれをゴールにして、じゃあ何年生で何が学べるのか、地域からどんなことを地域と一緒にどんな学びを作っているのかっていうあたりをもう1回こう考えていきたいなと思っているところで①番のところに書かせていただいたところです。②番関わりましては、本校でもSNS絡みでどうしてもYouTubeというサイトに動画を投稿してしまう、中身は様々なんですけど、そういったもののハードルが低くなってくると、〇〇（聞き取れず）があるよということで指導はしてるところなんですけど、そういうことも考えながら、親への啓発も含めて、地域の皆さんとそこを考えていきたいと思ってました。以上です。

○ 矢巾中学校 吉岡校長

令和5年度の取組の中で、「地域・家庭と協働して、矢巾の特色を学ぶ機会の活用」というふうに書かせていただきました。今現在は、農業体験であるとか郷土食であるとか、やはり地域の方々の協力の下でそういう機会を作り出しています。ですがさらに歴史だったりとか学ぶものが多い地域でもありますので、でもそれはやっぱり地域の方の協力をいただかなければならないこともありますので、令和6年度の取組のところにさらに同じように書かせていただきました。少しずつそれを広めていきたいなというふうに思っています。「情報モラル指導の充実」ということでは、今年は学年ごとに保護者を交えての機会を作り出すことができました。でも、やはり、1回で終わりではないのかなと。これまでは使い方であるとか、情報モラル〇〇（聞き取れず）の指導だったんですが、これからはやはり犯罪に巻き込まれない、それから犯罪を起こさないというふうな、高く学んでいくことを生徒もですし保護者の方とも一緒に考える機会を作っていかなければならないのかなと思っています。令和5年度の取組「部活動の地域移行を見据えた活動の検討」について、これは継続して、格好だけではなく地域の方々と町の教育委員会と相談しながら進めていきたいと思っています。以上です。

○ 矢巾北中学校 長谷川副校長

令和5年度の取組、令和6年度の取組、ほぼほぼ同じです。考え方としては、やはり経年できちんと子供個人個人の変化を見ていくということで①番。特に子ども達全体への情報モラルの方は、あとは保護を対象としてのというのはあるんですが、やはり情報モラルに関しましては、各家庭という単位で考えた方が、やはり有効的だろうと、実質的だろうということで、本校としては具体的に言いますと、まずは生徒のメタ認知、自分が今どういう状況にいるのかというスクリーニングテ

ストの実施、あとは三者面談を利用して、親子で同じ動画を見る。そして、そこからそこにも書いてありますが、家庭での意識向上と利用の見直しに繋げていきたい。その動画はせいわ病院の先生に作っていただいたものというふうなことで、同じものを観ておりますが、そこに少しずつ変化を、改良を加えながら続けて行きたいというふうに考えております。②番ですが、その学校文化の地域貢献ということで、今年度も東小学校さんの方に本校合唱部が出向いたり、地域の方々にとり、県内学校との交流等、いろんなところで交流しております。本校の特色、特徴として、合唱というものを前面に出してやっていくことにより、学校に対する子ども達の所属感、誇り、そういうのを持たせながら、発信していきたいなと思っております。（ここで全国大会に出場している学校の経過報告。予選通過し本選5校に入った。）以上です。

○ 女鹿会長

それではですね、今、各部会から令和6年度重点取組項目というところを反省を踏まえながらご報告いただきました。それを踏まえてですね、26ページの下段ですね、例年通りですね、令和6年度の我々の共通の取り組みについて決めて行きたいなと思っておりました。それで何かご意見とかがありますでしょうかと言ってもなかなか出ないかなと思っておりましたので、私の方でですね、今聞いたお話をちょっとまとめさせていただきながらですね、こんなのどうでしょっていうのをご提示しますので、そのあたりちょっと肉付けあればですね、お願いできればと思っておりましたのでよろしくお願いいたします。今お話聞いた中でですね、その前に令和2年からですね始まって、コロナ禍に突入したわけで、その中でやれることということで、昨年までですねやはり今お話、各学校出たとおり、情報メディアとか、そのモラルのところを集まれないということで、より子供たちもそういうのに接する機会が増えるだろうと。家にばかりいてですね、そこに力を入れてこうっていうところと、あとはそれにプラスして通学の安全だとかですね、そういう面に今まで非常に力を入れてきたという、説明がありました。ただ、今年ですね5月にコロナ禍が少しずつ落ち着いてきて、いよいよ動き出していいんじゃないか、という今日の方針を聞いてるとそのように感じました。そこで単純ではありますけれども、やはり今年はですね、学校と地域の協働ということをテーマにしていきたいなと考えてました。目的としましてはやはりですね、今まで見えなかったその学校の中をですね、地域の方にもっと知ってもらおうということを目的にしていきたいなと思っております。なかなか今までの授業参加等、運動会等何やってもですね、なかなか入場制限があったりというところですけども、これからですねもっともっと地域の方々に見ていただいたり、あと今お話いただいた通りですね、いろんな田んぼとかですねそういうところで地域の方々のお手伝いいただいたり、そういうところで地域の方々もですねやっぱり子供たちが何か役に立ちたいと思っておりますので、もっと積極的にですね、地域の方々といろんなことを取り組んで、取り組むまでいかなくても考えていくという1年にさせていただいて、次年度から動き出すということでもよろしいかと思うんで、まず、その部会を運営する上でですね、地域の方々のメンバー構成とかですね、そういうところを考慮しながらやっていただければいいのかなと思っております。効果というところですけども、これはもちろんですね、地域が学校に関わりやすくなるっていうところが1番なのかなと思っております。先生方、いろんな業務忙しい中でさっき働き方改革という話も出ました。やはり子供たちの教育に集中してもらうためにですね、地域とか親とかPTAが学校にもっと協力できることをやってくと。協力するだけじゃなくて、こういうことをやりたいっていう発信も必要かなというところですね、地域とこういう面に関わっていくと効果が得られるのかなと。

また、さっき中学校のところにありましたキャリア教育っていうところもありましたけども、北中さんなんかは町内の企業さんで体験するとか。やはり町内にもすごくいろんな企業さんとか、農業なんかでも一生懸命頑張ってる方々いらっしゃると思いますので、今後そういう部会なんか組むときにですね、コミュニティの方々プラスですねそういう地域でそういう部門、商業とか農業で頑張ってる方々とか、そういった方のご意見を聞きながらっていうのも、一つありなんじゃないかなと思って、今日お話を皆さんのお話を聴いておりました。ということで、学校と地域の協働ということで、今年1年ですねまず取り組んで、来年ですね、令和6年度皆さんで取り組んでいってですね、まず動き出す前の準備段階ということにはなると思うんですけども、何か一つでもですね、地域の方々と一緒にやれたという成果が、来年度末に報告いただければ、非常にうれしいなと思うのでございました。という感じで学校と地域の協働ということで目標とさせていただきたいんですけども、これに対して皆さんが何かプラスでとかこういうのもあるんじゃないかご意見いただきたいと思うんですがいかがでしょうか。よろしいでしょうか。あと先ほど矢巾東小学校の校長先生からあったとおり、我々PTAなんですけども、元に戻すのではなくて、やれることを吟味してやってみよう。削り落とすところは削り落とすということも大事なので、コロナ禍が明けてですね、新しいやり方というのを考えていいと思いますので、各部会の方ですね取り組んでいただきたいということと、部会にこだわらずにですね、やっぱり同じ町内で各部会ありますので、何かいろんなお互いに出し合ってますね、いい案だったら真似することも悪くないだろうなと思いますし、そちらの地域の講師を雇ってとかお願いして来てもらってもいいと思うので、そういうのも今後積極的にですね、部会同士の交流できる場も設けていければいいのかなと思いますので、そちらの方は教育委員会の方にもよろしくお願ひしたいと思ってました。ではこれで、この学校と地域の協働ということで、1年間皆さんよろしくお願ひいたします。

以上をもちましてですね協議事項終了とさせていただきます。皆様、ご協力ありがとうございました。